

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 2 年 7 月 30 日 (2020.7.30)

【公開番号】特開 2018-207415 (P2018-207415A)
 【公開日】平成 30 年 12 月 27 日 (2018.12.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-050
 【出願番号】特願 2017-113871 (P2017-113871)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)
 G 0 3 B 17/02 (2006.01)
 G 0 3 B 17/00 (2006.01)
 G 0 3 B 15/00 (2006.01)
 G 0 3 B 17/24 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/232 9 4 5
 G 0 3 B 17/02
 G 0 3 B 17/00 Q
 G 0 3 B 15/00 F
 G 0 3 B 17/24
 H 0 4 N 5/232 3 0 0

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 6 月 5 日 (2020.6.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

デジタルの撮像データに基づく複数のフレーム画像を取得する取得手段と、
ユーザーの視線方向を検出するセンサの出力から得られる、該ユーザーの視線に対応す
る前記センサ上の座標を、前記撮像データ上の座標に変換し前記フレーム画像に対応する
視線入力情報として取得する視線入力手段と、

前記フレーム画像と、該フレーム画像に対応する前記視線入力情報とを関連づけて記録
媒体に記録する記録制御手段と、
を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記記録制御手段は、1 つの前記フレーム画像に対して、対応する複数の前記視線入力
情報を関連付けて前記記録媒体に記録することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装
置。

【請求項 3】

前記センサにより前記ユーザーの視線が検出される頻度は、前記撮像データのフレーム
レートの整数倍であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記記録制御手段は、前記視線入力情報が関連付けられた前記複数のフレーム画像によ
る動画データと、デジタルの撮像データに基づく静止画データとを 1 つのファイルとして
前記記録媒体に記録することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像処
理装置。

【請求項 5】

前記フレーム画像と関連付けられた前記視線入力情報を該フレーム画像に重ねて表示部に表示する表示制御手段を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記表示制御手段は、1 つの前記フレーム画像に対応する前記視線入力情報を、該フレーム画像と他のフレーム画像を含めた複数のフレーム画像にわたって重ねて表示することを特徴とする請求項 5 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記表示制御手段は、1 つの前記フレーム画像に対応する前記視線入力情報を、該フレーム画像を含めた複数のフレーム画像にわたって重ねて表示し、該フレーム画像より時系列で新しいフレーム画像に重ねて表示される前記視線入力情報の方が該フレーム画像に重ねて表示される前記視線入力情報よりも弱く表示することを特徴とする請求項 6 に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

レンズを介して入力された光束から前記撮像データを生成する撮像手段を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記視線入力手段は、前記視線入力情報を必要とするモードへの変更がなされたことに応じて、前記視線入力情報の取得を開始することを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

前記視線入力手段は、ユーザーがファインダを覗くことを検出したことに応じて、前記視線入力情報の取得を開始することを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 11】

デジタルの撮像データに基づく複数のフレーム画像を取得する取得ステップと、
ユーザーの視線方向を検出するセンサの出力から得られる、該ユーザーの視線に対応する前記センサ上の座標を、前記撮像データ上の座標に変換し前記フレーム画像に対応する視線入力情報として取得する視線入力ステップと、
前記フレーム画像と、該フレーム画像に対応する前記視線入力情報とを関連づけて記録媒体に記録する記録制御ステップと、
を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記の目的を達成するために、本発明に係る画像処理装置は、デジタルの撮像データに基づく複数のフレーム画像を取得する取得手段と、ユーザーの視線方向を検出するセンサの出力から得られる、該ユーザーの視線に対応する前記センサ上の座標を、前記撮像データ上の座標に変換し前記フレーム画像に対応する視線入力情報として取得する視線入力手段と、前記フレーム画像と、該フレーム画像に対応する前記視線入力情報とを関連づけて記録媒体に記録する記録制御手段と、
を備えることを特徴とする。

また、本発明に係る画像処理装置の制御方法は、デジタルの撮像データに基づく複数のフレーム画像を取得する取得ステップと、ユーザーの視線方向を検出するセンサの出力から得られる、該ユーザーの視線に対応する前記センサ上の座標を、前記撮像データ上の座標に変換し前記フレーム画像に対応する視線入力情報として取得する視線入力ステップと

、前記フレーム画像と、該フレーム画像に対応する前記視線入力情報とを関連づけて記録媒体に記録する記録制御ステップと、
を備えることを特徴とする。